

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市暗渠排水設置事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
					細目	1	農業振興費
根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	宇陀市における農地の機能を適正に発揮し、耕作放棄地の解消に繋がる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	300	
					一般財源		
					H25予算額	A 300	
					H24当初予算額	B 300	
H24現計予算額	300						
増減額	A-B						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		/			宇陀市農業支援基金繰入金 300千円		
従事職員数【人工】			0.02				
人件費(人工×8,000千円)			160				
総事業費:人件費含む(千円)			550				
活動指標名		申請延長					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績			単位	1,844	単位	m	
単位当たりコスト(円)					298		
事業の目標	農地の排水を整備し、農産物の生産を拡大する				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (5)宇陀市農業支援基金事業	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	獣肉(イノシシ・鹿)利用推進事業調査委託費				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	毎年増え続けている有害獣について、捕獲獣肉を有効利用するには、食肉用として販売するか、ペットフードとして販売するかの2通りである。食肉用では、食品衛生法における「食肉処理業」の許可施設が必要になり、奈良県では、「野生獣肉にかかる衛生管理ガイドライン」が平成21年度に定められている。一方ペットフードでは、許可施設が不要であるため既に取組んでいるところもあり消費者は、安全安心な品物を求めている。市内の食材と組み合わせ創作料理やじまん料理等を開発し展開できる調査・研究を行う。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市鳥獣被害防止計画						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	平成23年度実績で、獣肉に換算するとイノシシで118頭(35.4%/60kg)2,506kg、鹿では、231頭(24.8%/60kg)3,437kgの食用となる。これらを猟友会と連携し組織づくりを行うと共に、直売所やインターネットを使って販売していくシュミレーションを描く計画としている。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	シカ 60kgの固体を解体すると後ろモモ肉 11.6kgと背ロース3.3kg合計14.9kg獣肉がとれ、24.8%となる。  イノシシ 60kgの固体を解体すると後ろモモ肉 8.0kg、ロース6.8kg、ばら肉2.8kg、ヒレ肉0.5kg、前足3.2kg合計21.3kgが取れ、35.4%となる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,800	
					H25予算額	A 1,800	
					H24当初予算額	B	
H24現計予算額							
増減額	A-B 1,800						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績							
活動指標の実績							
単位当たりコスト (円)							
事業の目標	「獣肉処理施設」を建設しても消費に結びつかなければ、施設が維持できないため、消費・販売の販路を先に開拓する必要がある。そのため平成23年度の有害鳥獣捕獲頭数の実績からイノシシは、2,506kg、鹿は3,437kgの食用となるが、この量を安定したかたちで供給するためには捕獲許可を持つ猟友会との連携が必要で、安心・安全な獣肉の提供を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (4)獣肉(猪・鹿)利用促進調査事業	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図るため、鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設設置を行う経費につき助成を行う。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除施設設置被害防除事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	設置費用の300円/m以内、天井付き囲み柵については、300円/m以内を助成する。				財源の内訳 (単位:千円)		
	本事業を利用し、毎年10km以上の防護柵が整備され、鳥獣被害の防止に効果がある。  H21 53件/13km H22 58件/17km H23 80件/23km H24 38件/10.2km				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源					3,000		
H25予算額					A 3,000		
H24当初予算額	B 3,000						
H24現計予算額	3,000						
増減額	A-B 0						
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			2,864	3,000			
従事職員数【人工】			0.20	0.20			
人件費(人工×8,000千円)			1,600	1,600			
総事業費:人件費含む(千円)			4,464	4,600			
活動指標名			申請延長				
活動指標の算式			-				
活動指標の実績			23,000 単位 m	10,200 単位 m			
単位当たりコスト(円)			194	451			
事業の目標	農林産物等への被害防止を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農地・農業用施設維持管理に伴う重機借上げ助成事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、耕作放棄地の解消に繋がる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	600	
					一般財源		
					H25予算額	A 600	
					H24当初予算額	B 600	
H24現計予算額	600						
増減額	A-B						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		935	600		宇陀市農業支援基金繰入金 600千円		
従事職員数【人工】		0.02	0.02				
人件費(人工×8,000千円)		160	160				
総事業費:人件費含む(千円)		1,095	760				
活動指標名		申請件数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		29	単位	件	23	単位	件
単位当たりコスト(円)		37,759		33,043			
事業の目標	農地、農業用施設に対する維持管理				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (5)宇陀市農業支援基金事業	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市新設雨除ハウス設置事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	1	農業振興費					
根拠条例等	宇陀市農業支援基金条例						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	宇陀市における農地及び土地改良施設の機能を適正に発揮し、農業の振興を図る。 ※基金については、軽自動車税徴収額(農耕用車両)相当額を基金として積立て				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	H23申請者7名 申請面積4031㎡				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	2,000	
					一般財源		
					H25予算額	A 2,000	
					H24当初予算額	B 2,000	
H24現計予算額	2,000						
増減額	A-B						
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			2,429	103	宇陀市農業支援基金繰入金 2,000千円		
従事職員数【人工】			0.02	0.02			
人件費(人工×8,000千円)			160	160			
総事業費:人件費含む(千円)			2,589	263			
活動指標名			申請面積				
活動指標の算式			-				
活動指標の実績			4,031 単位 ㎡	205 単位 ㎡			
単位当たりコスト(円)			642	1,283			
事業の目標	雨除けハウスを活用し、施設園芸の利用維持を図る				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (5)宇陀市農業支援基金事業	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	数量調整円滑化推進事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	米政策改革推進対策を推進するため、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律等の経費について補助する。				区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	1	農業費	
					目	3	農業振興費	
細目	2	数量調整円滑化推進事業費						
根拠条例等	奈良県数量調整円滑化推進事業費補助金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H25年度事業の概要	米政策改革推進対策を推進するため、事業に要する経費について補助金を交付。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	H23年度実績 農業者別生産数量目標の配分ルールの設定及び配分基準単収の設定に要する経費 30,000円 生産調整方針の適切な運用に関する助言指導に要する経費 80,000円 水稻生産実施計画書の作成等に要する経費 445,000円 米の生産調整実施者の確認に要する経費 200,000円 合計 755,000円				使用料			
					国費			
					県費	679		
					市債			
					その他			
					一般財源	1		
					H25予算額	A 680		
					H24当初予算額	B 1,093		
H24現計予算額	1,093							
増減額	A-B 680							
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)			755	679	数量調整円滑化推進事業補助金 679千円			
従事職員数【人工】			0.30	0.30				
人件費(人工×8,000千円)			2,400	2,400				
総事業費:人件費含む(千円)			3,155	3,079				
活動指標名			農家戸数					
活動指標の算式			-					
活動指標の実績			2,407	単位	戸	2,407	単位	戸
単位当たりコスト(円)			1,311		1,279			
事業の目標	米政策改革を推進するため、宇陀市の振興作物・販売、水田活用、担い手の育成等の将来方向を明確にし、生産対策及び経営対策を実施する事により水田農業の構造改革を促進する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中山間地域直接支払事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	河川の上流地域に位置し、傾斜地が多い等の立地特性から農業生産活動等を通じ国土の保全、水源の涵養、良好な景観形成等の多面的機能を発揮されている。しかし、高齢化が進行するなか、平地地域と比べて農業生産条件が不利な地域があることから、担い手の減少、耕作放棄地の増加等によって、多面的機能の低下が懸念されている。 このため、農業生産活動等を通じて中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から、当該農業生産活動等を行う農業者に対し、直接支払いを実施する。				区分	No.	区分名	
					款	5	農林水産業費	
					項	1	農業費	
					目	3	農業振興費	
細目	4	中山間地域直接支払事業費						
根拠条例等	宇陀市中山間地域等直接支払交付金交付要綱							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H25年度事業の概要	実施期間	平成22年度～平成26年度			財源の内訳 (単位:千円)			
	交付対象集落	41集落			分担金			
	交付対象面積	2,501,800㎡			使用料			
	事業費	43,470千円			国費			
事業の成果	耕作放棄地の防止等による多面的機能の維持・向上を行った。				県費	32,318		
					市債			
					その他			
					一般財源	11,152		
					H25予算額	A 43,470		
					H24当初予算額	B 43,481		
					H24現計予算額	43,481		
				増減額	A-B ▲ 11			
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		43,481	43,470					
従事職員数【人工】		1.00	1.00					
人件費(人工×8,000千円)		8,000	8,000					
総事業費:人件費含む(千円)		51,481	51,470					
活動指標名		集落数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		41	単位	集落		41	単位	集落
単位当たりコスト(円)		1,255,634	1,255,366					
事業の目標	耕作放棄地の発生防止・多面的機能の確保のため、集落で農地の管理方法や役割分担を取り決めた協定に基づき、5年以上農業生産活動を行うと共に、将来に向けた体制づくりを行っていく。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	



平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	戸別所得補償制度導入推進事業 水田活用経営所得安定対策交付金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)				
事業の目的	この事業は、食料自給率の向上を図るとともに農業と地域を再生させ、将来に向けて明るい展望を持って生活できる環境を作り上げるための施策である。水田農業における生産調整とともに土地利用型作物、「宇陀の黒大豆・小豆」を産地化・ブランド化させ6次産業化を目指す。			宇陀市一般会計予算			
				区分	No.	区分名	
				款	5	農林水産業費	
				項	1	農業費	
目	3	農業振興費					
細目	6	戸別所得補償制度導入推進事業					
根拠条例等	奈良県戸別所得補償制度導入推進事業費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	平成23年度実績で黒大豆の作付け面積が、30haであったことから平成25年度で45haを目指す。それに対して宇陀市として振興作物助成金を交付する。対象作物は、黒大豆及び小豆 10a(1反)当たり5,000円以内 2,250,000円			財源の内訳 (単位:千円)			
				分担金			
事業の成果	夏季冷涼、昼夜の気温差の大きさもあって良質の黒大豆が収穫でき、品質的には主産地丹波産に「勝るとも劣らぬ」と高く評価されている。しかしながら、兵庫、岡山、京都などの主産地に比し栽培面積も極めて過少であることから、この高品質の黒大豆・宇陀の大納言小豆生産拡大をねらう。			使用料			
				国費			
				県費			
				市債			
				その他			
				一般財源	2,250		
				H25予算額	A 2,250		
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B 2,250						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績							
単位	単位	単位					
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	平成16年度から地域の特産品を目指し整備された優良な農地を活用して黒豆・小豆の栽培を始めた。黒豆茶やケーキ、お菓子などの商品開発を続けるかたわら、黒豆祭りを開催し、グリーンツーリズムによる消費拡大、知名度アップを図っている。さらに黒豆・小豆の一大生産としてブランド化を図り、生産者が加工、販売までの6次産業化を目指している。			備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (3)戸別所得補償制度導入推進事業		



平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	農業者戸別所得補償推進事業費				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農業戸別所得補償制度において、農家の申請書類の受付、作付面積の確認事務について行う。また、集落営農の法人化に必要な事務費助成、集落営農の経理事務担当者を育成する活動等を支援する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	6	戸別所得補償制度導入推進事業					
根拠条例等	奈良県戸別所得補償制度導入推進事業費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	農業者戸別所得補償制度の実施に必要な推進活動のうち、市が行う現場における推進活動や要件確認等に必要となる経費を国から助成。 さらに、宇陀市として生産拡大を目指すため水田活用の経営所得安定対策交付金2,250,000円以内を上乗せ助成する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	H24年度実績 賃金 221,839円 報償費 674,880円 人件費 200,000円 需要費 920,618円 役務費 83,587円 合計 2,100,924円				使用料		
					国費		
					県費	5,887	
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H25予算額	A 5,888	
					H24当初予算額	B 5,406	
H24現計予算額	5,406						
増減額	A-B 482						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		1,901	2,100		農業戸別所得補償制度導入推進事業助金 5,887千円		
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費:人件費含む(千円)		4,301	4,500				
活動指標名		農家戸数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績		2,407	単位	戸	2,407	単位	戸
単位当たりコスト(円)		77,734			81,937		
事業の目標	農業者戸別所得補償制度の推進活動を行い、制度加入者の申請書類等の配布・回収の申請手続を支援し、奈良地域センター等へ情報を提供する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	<b>経営体育成支援事業</b>				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	本市の農業は、住民への食料の安定供給という使命に加え、地域社会の活力の維持、自然環境の保全等の多面的な機能を有しており、豊かでゆとりのある生活の実現のために欠かすことの出来ない重要な役割を果たしている。しかしながら、農業は農業所得の激減、農業従事者の減少・高齢化の進展、農地面積の減少等を受け厳しい状況におかれている。このような中で、農業生産の持続性を確保し、住民への重要な役割を果たしていくためには、意欲ある多様な経営体の育成・確保を図っていくことが必要である。このため、それぞれの経営体が直面している課題に				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	7	経営体育成交付金					
根拠条例等	平成22年6月30日付け宇陀市告示第76号宇陀市経営体育成支援交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	融資主体補助型・・・5経営体(事業費20,000,000円助成金6,000,000円)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成24年度の実績(宇陀市地域農業再生協議会一般会計予算) 新規就農補助・・・3経営体(事業費26,132,663円助成金11,858,000円) 融資主体型補助・1経営体(事業費9,004,800円助成金2,700,000円)				使用料		
					国費		
					県費	6,000	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H25予算額	A 6,000	
					H24当初予算額	B	
H24現計予算額							
増減額	A-B 6,000						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況 経営体育成支援交付金 6,000千円				
決算額又は決算見込額(千円)	14,632						
従事職員数【人工】	1.00						
人件費(人工×8,000千円)	8,000						
総事業費:人件費含む(千円)	22,632						
活動指標名	経営体育成支援対象者						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	8	単位 人					
単位当たりコスト(円)	2,829,000	単位					
事業の目標	新規就農者、認定農業者、集落営農等地域農業を担う者が、農業機械の更新・導入及び共同利用施設の整備等で、就農規模拡大、経営の多角化などの経営改善を行うことにより、地域の農業経営を活性化させる。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	



平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	<b>農地集積協力金事業</b>				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	土地利用型農業からの経営転換、相続、高齢によるリタイア等を契機として(遊休農地を保有している者を除く)農地利用集積円滑化団体等を通じて、地域農業マスタープランに位置づけられた地域の中心となる経営体に農地が集積されることが確実に見込まれる場合や、中心となる経営体の農地を連担化させようとする場合等に、市がそれに協力する者に対して農地集積協力金を交付する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	10	農地集積協力金事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	経営転換協力金 3戸 × 300,000円/(0.5ha以下の場合)=900,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	分散錯圖解消協力金 5,000円/(0.1ha) × 2ha=100,000円				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費	1,000	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H25予算額	A	1,000
H24当初予算額	B	900					
H24現計予算額		900					
増減額	A-B	100					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/	0	農地集積協力金 1,000千円				
従事職員数【人工】		0.30					
人件費(人工 × 8,000千円)		2,400					
総事業費:人件費含む(千円)		2,400					
活動指標名	農地面積						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		0	単位	ha			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	中山間地域で10a~20a規模の経営体がおおむねを占める構造を目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	環境保全型農業直接支援対策事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農林分野においても、地球温暖化防止や生物多性保全に積極的貢献することが重要となっており、平成23年度より環境保全の高い営農活動に取り組む販売を目的として生産を行う農業者等に対して直接支払う。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	90	環境保全型農業直接支援対策事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	対象者:エコファーマー認定者・有機農業に取り組む農業者 対象事業:化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組とカバーグロップの作付けを組合わせた事業・有機農業等 国:4,000円/0.1ha、県:2,000円/0.1ha、市:2,000円/0.1ha 事業取組農地 A=20ha 国から農家へ直接支援 20ha×4,000円/0.1ha=800,000円 市から農家に直接支援 20ha×4,000円/0.1ha=800,000円 推進事務費 30,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	農業生産活動による環境負荷発生リスクの軽減				使用料		
					国費		
					県費	430	
					市債		
					その他		
					一般財源	400	
					H25予算額	A 830	
					H24当初予算額	B 1,210	
H24現計予算額	488						
増減額	A-B ▲ 380						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			451				
従事職員数【人工】			1.00				
人件費(人工×8,000千円)			8,000				
総事業費:人件費含む(千円)			8,451				
活動指標名	認定者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		単位	12 単位 人				
単位当たりコスト(円)			704,250				
事業の目標	農業生産活動による環境負荷発生リスクの軽減					備考	
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	新規就農者確保事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する給付金を交付する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	91	新規就農者確保事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	新規就農者 8人 × 1,500,000円 = 12,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	分担金					
使用料							
国費							
県費		12,000					
市債							
その他							
一般財源							
H25予算額		A	12,000				
H24当初予算額	B	13,500					
H24現計予算額		13,500					
増減額	A-B	▲ 1,500					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		9,000		青年就農給付金 12,000千円			
従事職員数【人工】		1.00					
人件費(人工×8,000千円)		8,000					
総事業費:人件費含む(千円)		17,000					
活動指標名	新規就農者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		単位	6	単位	人		
単位当たりコスト(円)		2,833,333					
事業の目標	青年の就農意欲の喚起と就農定着				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	土地改良施設維持補修事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	国庫補助土地改良事業の対象とならない小規模な施設を対象とする、遊休農地の発生防止、活用等のための営農条件整備。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	3	農業振興費
細目	95	土地改良施設維持補修事業					
根拠条例等	「土地改良法第96条の2」(土地改良事業の開始)						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	宇陀市室生三本松地区 舗装工 L=95m 幅員 W=4.0m 舗装面積 A=380㎡				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	事業で整備することにより、農地の利用集積ができる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	3,000	
					その他		
					一般財源		
					H25予算額	A 3,000	
					H24当初予算額	B 6,001	
H24現計予算額	3,001						
増減額	A-B 3,000						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			3,000	・過疎債 3,000千円			
従事職員数【人工】			0.10				
人件費(人工×8,000千円)			800				
総事業費:人件費含む(千円)			3,800				
活動指標名	進捗率						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		単位	50	単位 %			
単位当たりコスト(円)			76,000				
事業の目標	農地が効率的に作付けできると共に、生産性の向上をはかる。					備考	
					<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (1)効果的な道路改良と補修の実施		



平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市地籍調査事業(新規着手分)				
所管課	145	地籍調査課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市を区域とする土地の保全及びその利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図るため、土地の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	5	地籍調査費
細目	1	本庁地籍調査費					
根拠条例等	国土調査法第6条の4 (事業計画の実施等)						
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築						
H25年度事業の概要	平成25年度 地籍調査の実施概要 ・榛原檜牧 第3期地区 (面積:0.64km <sup>2</sup> ) 地籍図根点測量、一筆地測量、一筆地調査 ・榛原檜牧 第2期地区 (面積:0.97km <sup>2</sup> ) 原因作成、地積測定、地籍図・地籍簿の作成 《榛原檜牧地区全体計画》 平成23年度 第1期地区 0.71km <sup>2</sup> 平成24年度 第2期地区 0.97km <sup>2</sup> 平成25年度 第3期地区 0.64km <sup>2</sup> 平成26年度 第4期地区 0.72km <sup>2</sup> 全体面積 3.04km <sup>2</sup>				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	国土調査法に定める地籍調査事業に昭和47年度から着手し、現在調査の完了した地区及び調査中の地区数及び面積は、66地区、51.40km <sup>2</sup> 、進捗率は約22%である。 調査の完了地区では、この事業を実施したことにより土地が保全され①土地境界をめぐるトラブルの未然防止 ②災害復旧の迅速化 ③登記手続きの簡素化及び費用の軽減、期間の短縮 ④公共事業の効率化 ⑤公共物管理の適正化 ⑥土地の有効活用の促進 等の効果が得られることになる。				分担金	
使用料							
国費							
県費			14,520				
市債							
その他							
一般財源			5,310				
H25予算額	A	19,830					
H24当初予算額	B	25,532					
H24現計予算額		25,532					
増減額	A-B	▲ 5,702					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	14,220	20,120	地籍調査費負担金 14,520千円				
従事職員数【人工】	1.55	1.55					
人件費(人工×8,000千円)	12,400	12,400					
総事業費:人件費含む(千円)	26,620	32,520					
活動指標名	実施面積						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	0.7	単位 km <sup>2</sup>	0.97	単位 km <sup>2</sup>			
単位当たりコスト(円)	37,492,958		33,525,773				
事業の目標	地籍調査未実施地区181km <sup>2</sup> の早期完遂				<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (4)地籍調査の推進		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県営一般農道整備事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	農業経営の合理化及び農業生産力の増強を促進するため、広域農道、基幹農道以外の農道網の基幹となる農道を県営事業で実施する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	1	農業費
					目	6	農業土木費
細目	1	農業土木費					
根拠条例等	土地改良法第91条第6項						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	県事業費 60,000千円 用地測量・用地補償費 負担割合 国50% : 県35% : 市15%				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	中山間地域の農林業の生産力の向上、利便性の向上を図り地域住民等の生活の安定を図る。				分担金	
使用料							
国費							
県費							
市債						9,000	
その他							
一般財源							
H25予算額						A 9,000	
H24当初予算額	B 4,800						
H24現計予算額	6,163						
増減額	A-B 4,200						
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			1,455	6,163			
従事職員数【人工】			0.03	0.03			
人件費(人工×8,000千円)			240	240			
総事業費:人件費含む(千円)			1,695	6,403			
活動指標名			受益面積				
活動指標の算式			—				
活動指標の実績			203 単位 ha	203 単位 ha			
単位当たりコスト(円)			8,350	31,542			
事業の目標			農業経営の合理化、農業生産力の向上や生活環境の利便性の向上。			<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路改良と補修の実施	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止を目的として、平成18年7月に宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対策協議会を立ち上げ、協議会が事業主体となり鳥獣害防止対策事業を実施する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	ソフト事業(補助率:1/2 事業費440万) ニホンザル群の個体数及び群構成の調査 モンキードッグ育成 追払いグッズの配布 獣肉利用の推進 不要果樹伐採等 ハード事業(補助率:定額 事業費6000万) 防除柵設置				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	モンキードッグ育成:7頭 名張B群:53頭の把握 アライグマ捕獲檻65基の導入				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,100	
					H25予算額	A 1,100	
H24当初予算額	B 1,100						
H24現計予算額	1,100						
増減額	A-B 1,100						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		1,100					
従事職員数【人工】		0.20					
人件費(人工×8,000千円)		1,600					
総事業費:人件費含む(千円)		2,700					
活動指標名	捕獲頭数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	単位	4 単位 頭					
単位当たりコスト(円)		675,000					
事業の目標	宇陀市、名張市連携による鳥獣被害の防止				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市産木材利用促進事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	木材需要の大部分を占める住宅工事を活性化させることにより、市内で生産された木材の利用を促進し、市内の木材・住宅関連産業を中心とする地域経済の活性化を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市産木材利用促進事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	宇陀市産木材購入費の1/2まで、上限100,000円を補助する。 住宅新築による構造材の補助 3件×100,000円 住宅新築による内装材の補助 7件×100,000円 構造材補助と内装材補助は併用可能とし、その場合は上限20万円とする。 合計10件1,000,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	市内で生産された木材を、安価に安定供給される輸入材から置き換えるよう政策誘導を行う。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,000	
					H25予算額	A 1,000	
H24当初予算額	B 1,000						
H24現計予算額	1,000						
増減額	A-B						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		249					
従事職員数【人工】		0.03					
人件費(人工×8,000千円)		240					
総事業費:人件費含む(千円)		489					
活動指標名	申請件数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	単位	3 単位 件					
単位当たりコスト(円)		163,000					
事業の目標	構造材として宇陀市産木材の使用量 10m <sup>3</sup> ×2件=20m <sup>3</sup> 内装材として宇陀市産木材の使用量 40m <sup>3</sup> ×8件=320m <sup>3</sup>				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (3)宇陀市産木材利用促進助成制度	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣防除ライセンス取得補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	狩猟免許取得により捕獲技術を持つ人物を各地域で育成し、地域ぐるみで効率的迅速な捕獲体制を講じることにより、個体数調整による農地の遊休荒廃化を防止する				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣防除ライセンス取得事業助成金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	狩猟免許新規取得のための経費の一部助成 10,000円/人				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	新規取得者増加により地域での捕獲体制が整いつつある H21:11人 H22:7人 H23:27人				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	110	
					一般財源		
					H25予算額	A 110	
H24当初予算額	B 660						
H24現計予算額	660						
増減額	A-B ▲ 550						
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況 地域づくり推進基金繰入金(奈良県市町村振興臨時交付金積立分) 110千円		
決算額又は決算見込額(千円)			270	170			
従事職員数【人工】			0.40	0.02			
人件費(人工×8,000千円)			3,200	160			
総事業費:人件費含む(千円)			3,470	330			
活動指標名			ライセンス取得者				
活動指標の算式			-				
活動指標の実績			27 単位 人	18 単位 人			
単位当たりコスト (円)			128,519	18,333			
事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	有害鳥獣駆除個体処分手業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	鳥獣害による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲活動を行う自治会及び農家組合(共同取組)に対して補助金を交付する。捕獲したイノシシ・シカの大型獣の処分を衛生的に実施する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	火葬単価契約						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	イノシシ・シカ等の大型獣を衛生的に処理するため、室生動物霊園と火葬の単価契約を締結し処分する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	2,500	
					一般財源		
					H25予算額	A 2,500	
					H24当初予算額	B	
H24現計予算額							
増減額	A-B 2,500						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位				
単位当たりコスト (円)							
事業の目標	集落取組での捕獲したイノシシ・シカ等大型獣の処分を衛生的に実施する。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市有害鳥獣駆除事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害を防止するため、有害鳥獣を捕獲する				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣駆除事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	イノシシ 158頭×3,000円=474千円 オスシカ 65頭×5,000円=325千円 メスシカ 60頭×9,000円=540千円(7月~3月) メスシカ 40頭×12,000円=480千円(4月~6月) サル 3頭×20,000円=60千円  ニホンジカ集中捕獲事業 銃砲所持者を10名前後を同一地区に投入 4回×100,000円/回=400千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	有害鳥獣を捕獲したことにより、農林産物等への被害軽減が図られた H21捕獲頭数:イノシシ158頭 シカ165頭 サル1頭 H22捕獲頭数:イノシシ415頭 シカ185頭 H23捕獲頭数:イノシシ101頭 シカ165頭 サル2頭				分担金	
使用料							
国費							
県費						650	
市債							
その他							
一般財源						1,629	
H25予算額	A	2,279					
H24当初予算額	B	2,279					
H24現計予算額		2,279					
増減額	A-B						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	2,378	1,559					
従事職員数【人工】	1.00	1.00					
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000					
総事業費:人件費含む(千円)	10,378	9,559					
活動指標名	駆除頭数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	390	単位	頭	326		単位	頭
単位当たりコスト(円)	26,610			29,322			
事業の目標	効率的な捕獲により鳥獣被害の軽減を図る。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進



平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	有害鳥獣駆除集落取組事業補助金						
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	有害鳥獣による農林産物への被害防止を図るため、自主的に有害鳥獣の捕獲体制を整備し、捕獲活動を行う自治会及び農家組合に対し補助金を交付する。市町村臨時交付金を「地域づくり推進基金」として積み立て年次事業を行う。				区分 No.	区分名			
					款	5	農林水産業費		
					項	2	林業費		
					目	2	林業振興費		
細目	1	林業振興費							
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣捕獲共同取組事業補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化								
H25年度事業の概要	事業主体: 自治会及び農家組合 補助要件: 新たに狩猟免許を受けた者2名を含む3人以上でわなを管理する。 補助金額: 1地区40,000円以内、次年度以降は、20,000円減額 1地区×40,000円=40,000円 11地区×20,000円=220,000円 事業年度: 平成22年～平成26年				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	H23年度に5地区の申請があり、地域ぐるみで捕獲体制の整備が図られた。				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他	260			
					一般財源				
					H25予算額	A	260		
					H24当初予算額	B	880		
H24現計予算額		880							
増減額	A-B	▲ 620							
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	260	240							
従事職員数【人工】	1.00	1.00							
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000							
総事業費:人件費含む(千円)	8,260	8,240							
活動指標名	地区数								
活動指標の算式	-								
活動指標の実績	10	単位	地区	11		単位	地区		
単位当たりコスト(円)	826,000	749,091							
事業の目標	地域で捕獲体制を整備し、鳥獣による農林産物の被害軽減					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	猟友会補助金								
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算						
事業の目的	鳥獣の保護及び狩猟の適正化を図るため、宇陀市猟友会が行う事業に要する経費について、補助金を交付する。				区分	No.	区分名				
					款	5	農林水産業費				
					項	2	林業費				
					目	2	林業振興費				
細目	1	林業振興費									
根拠条例等	宇陀市猟友会補助金交付要綱										
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化										
H25年度事業の概要	有害鳥獣捕獲の実施				財源の内訳 (単位:千円)						
	有害鳥獣を捕獲したことにより、農林産物等への被害軽減が図られた H21捕獲頭数:イノシシ158頭 シカ165頭 サル1頭 H22捕獲頭数:イノシシ415頭 シカ185頭 H23捕獲頭数:イノシシ101頭 シカ165頭 サル2頭				分担金						
使用料											
国費											
県費											
市債											
その他											
一般財源					66						
H25予算額					A	66					
H24当初予算額	B	66									
H24現計予算額		66									
増減額	A-B										
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)			66	66							
従事職員数【人工】			0.10	0.10							
人件費(人工×8,000千円)			800	800							
総事業費:人件費含む(千円)			866	866							
活動指標名			会員数								
活動指標の算式			-								
活動指標の実績			94	単位				人	88	単位	人
単位当たりコスト(円)			9,213						9,841		
事業の目標	猟友会による捕獲活動支援							備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	獣害につよい里山づくり事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	集落と野生獣生息地との間に緩衝帯を整備し、獣被害の低減と里山の環境整備を推進する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	獣害につよい里山づくり事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	室生龍口地区 3.44ha 4,694,928円				財源の内訳 (単位:千円)		
	人工林:2.40ha×1,472,100円 不要木:0.64ha×361,200円 竹林:0.40ha×2,326,800円				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費	4,694	
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H25予算額	A 4,695	
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B 4,695						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/		獣害につよい里山づくり事業補助金				
従事職員数【人工】			4,694千円				
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績		単位		単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	緩衝帯整備による獣害被害の低減				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県単有害鳥獣駆除事業補助金				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	野生鳥獣による農林産物等への被害防止を図るため、捕獲依頼をする猟友会の出動経費について補助する。				区分	No.	区分名
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市有害鳥獣被害防除事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	猟銃による捕獲経費への補助 負担割合 猟友会1/3:300,000円 市1/3:300,000円 県1/3:300,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	捕獲による農林産物の被害を軽減				使用料		
					国費		
					県費	300	
					市債		
					その他		
					一般財源	300	
					H25予算額	A 600	
H24当初予算額	B 400						
H24現計予算額	400						
増減額	A-B 200						
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			352	303	有害鳥獣補助金 300千円		
従事職員数【人工】			0.10	0.10			
人件費(人工×8,000千円)			800	800			
総事業費:人件費含む(千円)			1,152	1,103			
活動指標名			出勤人数				
活動指標の算式			-				
活動指標の実績			120 単位 人	138 単位 人			
単位当たりコスト (円)			9,600	7,993			
事業の目標	猟友会による捕獲活動支援				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	美しい森林づくり基盤整備交付金事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法において、宇陀市が作成した「特定間伐等促進計画」に基づき、森林所有者等が実施する取組(地球温暖化防止をはじめとする森林の多面的機能の維持増進のための森林整備事業等 例:間伐・作業道開設)を支援するため、予算の範囲内で交付金を交付する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費					
根拠条例等	宇陀市美しい森林づくり基盤整備交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	森林所有者等が実施した森林整備(間伐、作業道開設)に対し、予算の範囲内で事業に係る経費の1/2を補助する。 市では、宇陀市森林組合と室生村森林組合が森林所有者の代理となって交付申請行っている。 全体事業費 15,321千円 うち国庫 7,660千円 所有者負担 7,660千円 事業概要 間伐 A=60ha 作業道開設 L=1,000m				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		使用料
事業の成果	奈良県実施の造林事業では対象とならない高齢級林(60年生以上)についても間伐等事業の対象となるため、市内山林の間伐等を行うことにより、森林のもつ多面的機能の維持増進を図ることができる。				国費	7,660	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H25予算額	A 7,661	
					H24当初予算額	B 14,532	
					H24現計予算額	14,532	
増減額	A-B ▲ 6,871						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況 美しい森林づくり基盤整備交付金 7,660千円		
決算額又は決算見込額(千円)		4,400	4,640				
従事職員数【人工】		0.40	0.40				
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200				
総事業費:人件費含む(千円)		7,600	7,840				
活動指標名		間伐実施面積					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		16 単位 ha	15 単位 ha				
単位当たりコスト(円)		467,980	522,667				
事業の目標	地球温暖化防止をはじめとする、森林の多面的機能の維持増進のための森林整備を支援することを目標とする。					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	鳥獣被害対策実施隊員報酬						
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	捕獲等を適正かつ効果的に行うことができる者を任命し、捕獲による鳥獣被害の防止を図る。				区分	No.	区分名		
					款	5	農林水産業費		
					項	2	林業費		
					目	2	林業振興費		
細目	1	林業振興費							
根拠条例等	宇陀市鳥獣被害対策実施隊員に関する要綱								
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化								
H25年度事業の概要	宇陀市の特別職の職員で非常勤のもの報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例 平成25年度 40,000円×16名=640,000円 (大宇陀・菟田野・榛原・室生の4地域から各4名づつ)				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	実施隊委員任命により、捕獲頭数の増加に繋がった。 H21年度: イノシシ 103頭、シカ 123頭 H22年度: イノシシ 272頭、シカ 136頭 H23年度: イノシシ 59頭、シカ 78頭 サル2頭				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	640			
					H25予算額	A 640			
					H24当初予算額	B 640			
H24現計予算額	640								
増減額	A-B 0								
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		640	640						
従事職員数【人工】		0.20	0.20						
人件費(人工×8,000千円)		1,600	1,600						
総事業費:人件費含む(千円)		2,240	2,240						
活動指標名		隊員数							
活動指標の算式		-							
活動指標の実績		16	単位	人			16	単位	人
単位当たりコスト(円)		140,000	140,000						
事業の目標	効果的な捕獲により、鳥獣被害の軽減を図る。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林整備地域活動支援交付金事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	適時適切な森林施策が十分に行われない森林の発生を防止し、森林の有する多面的機能が確保されるよう、森林経営計画の作成を通じた森林整備の推進を図る。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	4	森林整備地域活動支援事業費					
根拠条例等	宇陀市森林整備地域活動支援交付金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	森林経営計画作成促進支援メニュー(経営委託型)を活用し、市内森林の森林経営計画策定を支援する。 森林経営計画数 0計画→14計画(予定) 1経営計画の面積を複数林班の1/2程度(50~60ha)とし、1経営計画作成に係る事業費を算出。 (10ha×54,000円)+(15ha×38,000円)=1,110千円 ※54,000円→境界不明瞭、38,000円→境界明瞭 1,110千円×14計画=15,540千円(事業費) 推進事務費=301千円(事業費の2%程度)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	森林法の改正により、森林施策計画の新規樹立および継続が不可能になり、森林所有者が支援交付金事業費を活用する為には「森林経営計画」の策定が必要不可欠となった。 現在、年度内に森林経営計画が策定される見込みは少なく、H25年度において森林経営計画作成促進メニューを活用し、一つでも多くの森林経営計画策定を支援することが必要である。				使用料		
					国費	150	
					県費	11,655	
					市債		
					その他		
					一般財源	4,036	
					H25予算額	A 15,841	
					H24当初予算額	B 26,697	
H24現計予算額	26,697						
増減額	A-B ▲ 10,856						
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	32,851	276					
従事職員数【人工】	0.40	0.40					
人件費(人工×8,000千円)	3,200	3,200					
総事業費:人件費含む(千円)	36,051	3,476					
活動指標名	森林面積						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	6,499	単位 ha	6,499	単位 ha			
単位当たりコスト(円)	5,547		535				
事業の目標	様々な補助メニューを活用できる森林を増やすよう、森林経営計画の早期策定を支援。					備考	
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進		



平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	樹種転換推進事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	県単事業の「地域で育む里山事業」においては、針葉樹が補助対象にならないため、戦後植林された杉、檜による人家周辺の荒廃した里山林の整備が放置されている。国、県補助の対象とならない里山林整備や少人数の整備活動について、一般財源により補助を行い樹種転換を推進する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
			細目	10	樹種転換推進事業		
根拠条例等	宇陀市樹種転換推進事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H25年度事業の概要	人家から50m程度までの杉、檜を中心とした里山の針葉樹林を伐採し、クヌギやナラなどを中心とした広葉樹の苗木を植栽し、その費用を補助する。 杉、檜等針葉樹の伐採補助：10a当たり 50,000円(皆伐) 広葉樹苗木調達補助：10a当たり 50,000円以下(500円×100本程度)  見込み 20aとして 合計200,000円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	土砂崩壊災害の防止、環境保全林・景観保全林や水源涵養林としての人家周辺の里山林が本来持っている機能回復や杉・檜花粉飛散量の低減をも目指す。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	200	
					H25予算額	A 200	
					H24当初予算額	B 200	
H24現計予算額	200						
増減額	A-B 200						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		200					
従事職員数【人工】		0.01					
人件費(人工×8,000千円)		80					
総事業費:人件費含む(千円)		280					
活動指標名	申請面積						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	単位	0 単位 a					
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	平成25年度においても荒廃した針葉樹里山林について、20aの広葉樹里山林へと樹種転換を誘導する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (6)土砂災害予防のため、山林の樹種の転換の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	森林環境税施業放置林整備事業					
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	平成18年度施行の「奈良県森林環境税条例」により、市内のスギ・ヒノキの人工林を対象に、10年以上間伐による手入れの無い施業放置林について森林所有者に代わって間伐を実施し、森林の発揮すべき環境面の機能を保全する。森林所有者の事業費負担なし(100%県費)				区分 No.	区分名		
					款	5	農林水産業費	
					項	2	林業費	
					目	2	林業振興費	
細目	11	森林環境税施業放置林整備事業費						
根拠条例等	奈良県森林環境税条例							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化							
H25年度事業の概要	事業概要	間伐面積 A=239.38ha			財源の内訳 (単位:千円)			
	事業対象	①人家周辺の山地災害防止に資する区域 ②集落水源の集水区域 ③近畿・東海自然歩道沿いのバッファゾーン ④室生赤目青山国定公園区域 ⑤市が環境保全に重要と位置づける区域 事業内容 上記区域内で10年以上放置された人工林を対象に40%以上の間伐を実施			分担金			
事業の成果	平成18年度～23年度の6ヶ年で、市全体で678.04haを実施				使用料			
	間伐実施面積				国費			
	H18年度 A=93.40ha				県費	82,725		
	H19年度 A=138.76ha				市債			
	H20年度 A=148.93ha				その他			
	H21年度 A=101.06ha				一般財源	2		
	H22年度 A=90.53ha				H25予算額 A	82,727		
	H23年度 A=108.02ha				H24当初予算額 B	54,621		
H24年度 A=157.61ha				H24現計予算額	54,621			
				増減額 A-B	28,106			
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		27,374	37,479					
従事職員数【人工】		0.40	0.40					
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200					
総事業費:人件費含む(千円)		30,574	40,679					
活動指標名		間伐実施面積						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		108	単位	ha		158	単位	ha
単位当たりコスト(円)		283,040		258,099				
事業の目標	奈良県森林環境税により実施している事業もH23年度から2期目(H23～27)に入り、今後も積極的に施業放置林の間伐を実施することで、市内山林の荒廃を阻止し森林の持つ健全な環境保全機能を回復させる。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ふるさと復興協力隊事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	紀伊半島大水害からの復興活動等、地域協力活動を行う「ふるさと復興協力隊」を奈良県からの派遣を受ける。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	12	ふるさと復興協力隊事業					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	ふるさと復興協力隊の活動に必要な住居及び資機材等を整備する				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	ふるさと復興協力隊による地域協力活動				使用料		
					国費		
					県費	1,500	
					市債		
					その他		
					一般財源	1	
					H25予算額	A 1,501	
					H24当初予算額	B	
H24現計予算額	1,501						
増減額	A-B 1,501						
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			1,501				
従事職員数【人工】			0.20				
人件費(人工×8,000千円)			1,600				
総事業費:人件費含む(千円)			3,101				
活動指標名		捕獲頭数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績			14	単位 頭			
単位当たりコスト(円)			221,500				
事業の目標	ふるさと復興協力隊による地域協力活動				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	県産材生産促進事業				
所管課	142	農林課	(農林商工部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	森林の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能の持続的な発揮を目的とした間伐等の適正な森林整備を推進するとともに、未利用となっている県産材(間伐材)の搬出及び利用促進を図るため、宇陀市内の森林組合及び認定事業体に対し、県産材生産促進事業の経費について補助金を交付する。				区分 No.	区分名	
					款	5	農林水産業費
					項	2	林業費
					目	2	林業振興費
細目	86	県産材生産促進事業					
根拠条例等	宇陀市県産材生産促進事業補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業の活性化						
H25年度事業の概要	搬出コストの不採算により未利用となっている県産材の出材事業を行う事業体(森林組合・認定事業体)に対し、その搬出及び利用促進に係る経費を予算の範囲内で補助金を交付する。 1m3あたり 県=2,000円 市=1,500円を補助 事業量 V=1,700m3				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	未利用となっている間伐材の搬出及び利用促進を図ることができた。 H22年度 V=980m3 H23年度 V=2,351m3 H24年度 V=2,351m3 ※宇陀市森林組合≒2,000m3 室生村森林組合≒250m3				使用料		
					国費		
					県費	3,400	
					市債		
					その他		
					一般財源	2,550	
					H25予算額	A 5,950	
					H24当初予算額	B 6,125	
H24現計予算額	6,125						
増減額	A-B ▲ 175						
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	4,785	6,125	県産材生産促進事業補助金 3,400千円				
従事職員数【人工】	1.00	1.00					
人件費(人工×8,000千円)	8,000	8,000					
総事業費:人件費含む(千円)	12,785	14,125					
活動指標名	間伐材材積						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	2,351	単位 m <sup>3</sup>	2,351	単位 m <sup>3</sup>			
単位当たりコスト(円)	5,438		6,008				
事業の目標	未利用となっている県産材の搬出及び利用促進を図ることを目標とする。					備考	
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト 【農林業・商工業の振興】 (6)有害鳥獣対策の推進		